

**第47号**  
財高山市体育協会  
広報委員会

**ハンドボール少年男子・岐阜×大分の一戦**

**ハンドボール少年男子 優勝チーム**

**バスケットボール成年男子 岐阜×兵庫の決勝戦**

**バスケットボール少年男子 岐阜×新潟の一戦**

かいた。本国体を通じて全  
くは現場関係者にしか解らない温  
かいものだつた。本国体を無事終わつた。

### バスケットボール少年男子 岐阜×新潟の一戦



が総合優勝といふ結果で報われ、日  
本バスケットボール協会の役員は

が総合優勝といふ結果で報われ、日  
本バスケットボール協会の役員は  
もとより、前々年度開催地の千葉県、  
昨年度開催地の山口県からの評価  
には現場関係者にしか解らない温  
かいものだつた。本国体を通じて全  
くは現場関係者にしか解らない温  
かいものだつた。本国体を無事終わつた。

かいた。本国体を通じて全  
くは現場関係者にしか解らない温  
かいものだつた。本国体を無事終わつた。

が総合優勝といふ結果で報われ、日  
本バスケットボール協会の役員は  
もとより、前々年度開催地の千葉県、  
昨年度開催地の山口県からの評価  
には現場関係者にしか解らない温  
かいものだつた。本国体を通じて全  
くは現場関係者にしか解らない温  
かいものだつた。本国体を無事終わつた。

### ぎふ清流国体が無事終わつた

高山市バスケットボール協会

会長 住 吉人

地方都市のみで、バスケットボ

ル競技大会を消化した国体は初め

て、それに加えてバスケットボ

ル競技の総合優勝もするという快

挙を成し遂げた。

これで高山市は、インターハイ・

全中・国体と、三つの全国大会を開

催した。地方都市でこれだけの全国

規模の大会を開催できたのは異例

と言える。

ぎふ清流国体では特に成年男子

の決勝戦は見るものを感激させ、大

会関係者の労をねぎらうには十分

な試合だった。

地元出身者の足立選手がレギュ

ラーで出場したことでも大きかつた

が、前評判の高かった兵庫県を接戦

の末に破つただけに、小・中・高生、

そして地元国体関係者には無類の

感動を呼び、バスケットボール社会

に、また新たな感動を芽生えさせた

のではないだろうか。

ぎふ清流国体のバスケットボ

ル会場に決定以来、その設営と運営

にあたつた関係者の苦労は筆舌に

尽くしがたいが、その第一番の評価

ではないだろうか。

ぎふ清流国体のバスケットボ

ル会場に決定以来、その設営と運営

にあたつた関係者の苦労は筆舌に

尽くしがたいが、その第一番の評価

ではないだろうか。

### 栄光・快勝・健闘の記録

**★HC高山が全国準優勝**  
八月十日～十三日まで東京で行われた「ジャパンオープンハンドボールトーナメント」女子の部でHC高山が二年連続で準優勝に輝いた。

**★インターハイ三位入賞**  
七月二十八日～八月三日に新潟県で行われた高校総体の女子ハンドボールで、飛騨高山高校ハンドボール部が、過去最高の三位入賞に輝いた。

**★世界へ挑戦**  
飛騨高山高校ハンドボール部の中島沙里奈さんが八月十三日～二十七日に行われた「女子ユース世界選手権」に、日本代表として出場した。同校からは四年前に続き二人目となつた。

**★全国小学校陸上 百米に出場**  
新友陸上スポーツ少年団の田中廉治郎君(北小五年生)が八月二十六日・二十七日

に神奈川県で行われた全国小学生陸上競技交流大会に出席した。出場した。

**★ハンド県選抜が全国へ**  
高山市の中学生で編成された岐阜県選抜が九月二十二日に名古屋市で開かれた「ジュニアオリンピックカップ・ハンドボール大会」東海地区予選にて優勝し、十二月二十三日から福島県で行われた全国大会への切符を勝ち取つた。

高山市のメンバーは次の通り  
(女子) 小川如美、大崎歩  
美、谷口由衣、小瀬紗乃、今井綾乃(中山中)、松場優佳、平野環那、西平有希、橋戸彩(東山中)、西野圭菜子、川上真由

**★寄せ植え華道の皆さん作のミナモ**  
「寄せ植え華道」の皆さん作のミナモ

「第七回ひだ高山全国小学生ハンドボール大会」の決勝・準決勝が十一月十八日、高山市のビッグアリーナにて行われた。県勢は、女子で高山ミニ

島朋幸さんの四名が十一月十六日～十九日に埼玉県で行われた同大会に出場した。

**★高山市女子小学生ハンドボールチーム三位**  
十二月二十五日～二十八日に大阪で開催された「全国都道府県対抗中学バレーボール大会」同大会に岐阜県女子選抜チームの一員として中山中三年の四ツ辻千恵さんが選ばれた。

### わが協会の大先輩(12)

高山市ハンドボール協会  
理事長 小瀬 隆



高山市ハンドボール協会創立50周年の記念すべき年に、第67回国民体育大会が重なり、大変おめでたい年となりました。この半世紀に渡り高山市にハンドボールを根づかせたきっかけの人物が中島康名監修顧問です。

47年前、高山市開催となったハンドボール競技の運営・普及をされる中、高松宮様から「せっかく根づいたハンドボールの火を消さないで下さい」と言われたのが中島先生の心を動かし、野球が専門であったにもかかわらず、ハンドボールを継続されました。

我々若手の協会員は、今回の国体を先生への恩返しとして運営してきました。結果もついてきましたし、充実した大会となりました。残念なことは、3年前に中島先生とともに、友として、ライバルとして活動してこられた元中学校教諭の加藤辰彦先生が国体を待たずして亡くなられた事です。古き良き時代から現在まで中島、加藤両先生の熱き思いは若い協会員に引き継がれ、国体後の高山市ハンドボール協会の道を切り開く原動力になると思います。

最後になりますが、お二人の半世紀に渡るご努力に深く感謝申し上げます。

**★息びたりで三位入賞**  
十月二十一日に東京で開かれた全日本柔道形競技大会の「五形部門」で、黒田(男子)内木陸斗(中山中)が、四年ぶり三回目の出場を果たした。

**★高山風雪が全国大会へ**  
九月二十八日から岩手県で行われた全日本柔道形競技大会の「五形部門」で、黒田(男子)内木陸斗(中山中)が、四年ぶり三回目の出場を果たした。

た同大会女子の部で中山中が二位以下を大きく引き離し優勝し、全国大会出場(二十八位)を果たした。

**★全日本シニアアドミントン大会に四名出場**  
下屋仁さん、前澤健憲さん、松下晃久さん、柳島朋幸さんの四名が十一月十六日～十九日に埼玉県で行われた同大会に出場した。



## 大成功でした！ 清流国体

（アーチェリー）※地元選手のみ紹介

開催期間 平成24年10月2日～10月4日

会場 中山公園陸上競技場

成績 ○成年男子個人33位 酒井駿（近大）

○成年女子個人7位 長岡光江（県体協）

○少年女子個人8位 長瀬友里（高山西高）

” 28位 倉坪絢（高山西高）

○成年女子団体3位

○少年女子団体4位

（バスケットボール）※地元選手のみ紹介

開催期間 平成24年9月29日～10月3日

会場 飛騨高山ビッグアリーナ他

成績 ○成年男子 優勝 ○少年男子 5位 ○少年女子 優勝

（ハンドボール）※地元選手のみ紹介

開催期間 平成24年10月5日～10月9日

会場 飛騨高山ビッグアリーナ他

成績 ○成年女子 5位（山下孝子、八重安由美、小田奈穂子、中村愛歩、池之端弥生、柴田理紗、立野未央、東祥子、宮ノ腰愛子、岡崎加奈子、小松真理子、網谷涼子 以上HC高山）  
○少年男子 優勝（湯之上佳史、倉畠凌介、横本崇志、継石祥平、政井颯起、森下将史、平野友寛 以上高山西高）  
○少年女子 5位（後藤秋穂、中島沙里奈、古橋広葉、奥堀妃永、柴田佑真、佐藤西、平野麻穂、下会所舞香、渡邊美奈、今井雪乃 以上飛騨高山高）

3位入賞の  
アーチェリー成年女子



役員・監督・選手のみならず、競技関係者・運営補助員そしてボランティアの皆さん、ほんとうにお疲れ様でした。



### この人にこんにちは（長岡光江さん）

今回は、西高校でアーチェリー部の指導を行っている長岡さんを訪ねました。また、自らも各地で行われる大会に選手として参加され実績を残されています。

①アーチェリーを始めるきっかけは？

②今年参加された大会で心に残っている大会は？

③国体はいかがでしたか？

④今後の目標・抱負をお聞かせください。

高校生のときにバレーボール部に所属していましたが退部してしまいました。その後、無所属の私をアーチェリー部の監督が誘ってくださったのがきっかけです。

2月に行われた世界室内選手権大会です。世界大会でやつと自分の持てる力を發揮できました。念願のメダルを獲得し、表彰台で日本国旗を見れたことです。

開催県として絶対に結果を出さなくてはならなかつたので、調子が上がらないときは焦る気持ちを抑えながら大会まで調整をしてきました。大会では皇后杯優勝という結果が残せたことと、応援してくださった皆さんに感謝の気持ちでいっぱいでした。

4年後のオリンピックを目指します。まずは、今の自分に何が足りないのかを考え、目標を見据えた逆算で着実なレベルアップをはかりたいと思います。

【筆者の所感】国体の強化選手としての重荷を背負いながら、日々がんばっている姿が心に残っています。十分な結果も出せたし、高山に来て3年目、土地にも慣れてきて、今新たな目標に向かって動き出しているようです。今後も高山のメンバーとして、たくさんのアーチェリー仲間を作れるよう、頑張ってもらえたらと思います。（Y.T記）

平成二十五年度に向け『市長に要望書を提出』

高山市体育協会は、毎年、市民のスポーツ活動の振興と発展を図るため、各加盟団体をはじめ市民のスポーツに関する要望をまとめ、市に提出しています。市長ははじめ三役が出席し、國島市長に要望書を提出しました。また、橋本市議会議長とも面談し、同じように要望書を提出しました。今年度は「ぎふ清流国体」やロンドンオリンピックが開催され、スポーツに対する市民の関心や興味は大きく、それに応えるべきスポーツ活動の普及、振興に努力することが求められています。そこで、高山市当局のご理解とご支援のもと、スポーツ環境の向上を図る予算に對して格別の配慮を頂くよう強く要望しました。また、さらに十一月十九日（月）に高山市スポーツ議員団との懇談会も開催し、要望書の提出と今後の高山市スポーツ振興について意見交換を行いました。

市への要望事項の概略は次のとおりです。市長室において打保会長、垣内理事長をはじめ三役が出席し、國島市長に要望書を提出しました。また、高山市議会議長とも面談し、同じように要望書を提出しました。また、橋本市議会議長とも面談し、同じように要望書を提出しました。また、今年度は「ぎふ清流国体」やロンドンオリンピックが開催され、高山市議員団との懇談会も開催し、要望書の提出と今後の高山市スポーツ振興について意見交換を行いました。

市への要望事項の概略は次のとおりです。市長室において打保会長、垣内理事長をはじめ三役が出席し、國島市長に要望書を提出しました。また、高山市議会議長とも面談し、同じように要望書を提出しました。また、橋本市議会議長とも面談し、同じように要望書を提出しました。また、今年度は「ぎふ清流国体」やロンドンオリンピックが開催され、高山市議員団との懇談会も開催し、要望書の提出と今後の高山市スポーツ振興について意見交換を行いました。